地球物理学専攻 別紙１

**地球物理学専攻調査票−記入要領**

１．地球物理学専攻調査票（別紙４－１，４－２，４－３）は，募集要項の６−（２）に記載された他の出願書類と同様に，PDFファイルにして，インターネット出願システムにアップロードすること。

２．本調査票は面接試験の際の資料となるので，提出したものの控えを面接試験の当日に持参すること。

３．本調査票は，パソコン等で作成する場合は，枠の大きさ等の変更は加えないこと。白黒複写して審査に使用されるので，手書きの場合は黒ボールペン等で鮮明に記入し，PDFファイルに変換する際は明瞭なものとすること。

４．「受験番号」の箇所は空欄のままとすること。

５．「分野」の欄には，別紙３の表に示す３つの領域・８つの分野のうち，志望する領域と分野を，第２志望まで記入すること（必ず第２志望まで記入すること）。

分野の選択にあたっては，地球物理学専攻のホームページを参考にすること。

https://www.gp.tohoku.ac.jp/

なお，面接試験はＡ，Ｂ，Ｃの領域ごとに行なうため，第１志望と第２志望が２つの領域にまたがる受験者は，両方の領域の面接試験を受けることに留意すること。

６．「語学力認定証」の欄には，語学力認定証として提出するスコアとして該当するものすべての□に✓を記すこと。

７．「本専攻を受験するにあたって参考とした情報源（複数選択可）」の欄には，該当するものすべての□に✓を記すこと。

８．①〜③の記載にあたっては，各欄の指示に従うこと。なお，①および②については，それらに関する口頭での説明を面接試験の冒頭の約５分間に課す。

９．第１志望と第２志望が２つの領域にまたがる受験者は，②の欄（第１志望の領域における研究テーマ）と②’の欄（第２志望の領域における研究テーマ）に，志望するそれぞれの領域について記載する必要がある。第１志望と第２志望が同一の領域である受験者は，②の欄にのみ記載し，別紙４－３は提出不要。

地球物理学専攻 別紙２

**地球物理学専攻入学試験（一般選抜試験）における語学力認定証の提出について**

筆記試験実施日から過去2年以内に受験したTOEICⓇListening & Reading公開テスト，TOEFL iBTⓇテストのいずれかひとつ，あるいは両方の，スコアを証明する書類を，語学力認定証として提出してください。

（１） スコアの提出方法

・スコアを含めたすべての出願書類等を，PDFファイルにして，受付期間内にインターネット出願システムにアップロードしてください。

・第296回～第297回TOEICⓇListening & Reading公開テストのスコアを提出する場合は，８月９日(月)【必着】までに大学院教務係（募集要項11頁参照）に提出してください。郵送する場合は，必ず簡易書留郵便とし，任意の封筒に朱書きで「スコア在中」とし，送付してください。

・出願書類とともにスコアを提出した者も，第296回～第297回TOEICⓇListening & Reading公開テストのスコアを追加提出できます。

（２）TOEICⓇListening & Reading公開テストは，Official Score Certificate（公式認定証），TOEFL iBTⓇテストは，Test Taker Score Report（郵送による紙の受験者用控えスコア票）をPDFファイルにして，インターネット出願システムにアップロードしてください。追加提出する場合は，オリジナルを提出してください。

（３）そのほか

・団体受験用のTOEFL ITPⓇテスト及びTOEICⓇIPテストは，本試験の提出書類としては認めません。

・提出されたスコアは原則返却しません。

・提出されたTOEICⓇListening & Reading公開テスト及びTOEFL iBTⓇテストのスコアは相互に換算し，英語の得点を算出します。

・複数のスコアを提出した場合，換算の結果，得点の最も高いものを採用します。

・語学力認定証の提出がないと，出願書類不備とみなされます。

注）TOEFL，TOEFL iBT，TOEFL ITPおよびTOEICはエデュケーショナル　テスティングサービス（ETS）の登録商標です。

地球物理学専攻 別紙３

**分野の表**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 領域 | 分 野 | 主 な 担 当 教 員 | 所 属 | 分野の主な研究内容 |
| Ａ | **地震・火山学** | 教 授 西村 太志  准教授 中原 恒 | 固体地球物理学講座  　　　〃 | 固体地球物理学  地震学 |
| **沈み込み帯物理学** | 教 授 松澤 暢  教 授 三浦 哲  教 授 趙 大鵬  教 授 日野 亮太  教授(兼) 木戸 元之  准教授 岡田 知己  准教授 矢部 康男  准教授 山本 希  准教授 太田 雄策  准教授 内田 直希  准教授(兼) 福島 洋 | 地震・噴火予知研究観測センター  　　　〃  　　　〃  　　　〃  災害科学国際研究所  地震・噴火予知研究観測センター  　　　〃  　　　〃  　　　〃  　　　〃  災害科学国際研究所 | 地殻物理学  震源物理学  地震学  火山物理学  地球内部物理学  海洋底物理学  沈み込み帯ダイナミクス  グローバル地震火山学 |
| Ｂ | **気象学･大気力学** | 教　授 山崎 剛  准教授 佘 偉明  准教授　伊藤 純至 | 流体地球物理学講座  　　　〃  　　　〃 | 気象学  大気力学 |
| **海洋物理学** | 教 授 須賀 利雄  准教授 木津 昭一  准教授 杉本 周作 | 地球環境物理学講座  　　　〃  　　　〃 | 海洋物理学  大規模大気海洋相互作用  地球流体力学 |
| **大気海洋変動学** | 教 授 森本 真司 | 大気海洋変動観測研究センター | 大気環境学 |
| 教 授 早坂 忠裕  准教授 岩渕 弘信  講師KHATRI, Pradeep | 大気海洋変動観測研究センター  　　　〃  　　　〃 | 気候物理学  大気物理学  大気放射学 |
| 教授　安中　さやか  准教授 境田 太樹 | 大気海洋変動観測研究センター  　　　〃 | 海洋環境科学  衛星海洋学 |
| Ｃ | **宇宙地球電磁気学** | 教　授 加藤 雄人  准教授 熊本 篤志 | 太陽惑星空間物理学講座  　　　〃 | 地球･惑星プラズマ物理学  太陽系物理学 |
| **惑星大気物理学** | 教　授 寺田 直樹  准教授(兼) 村田 功 | 太陽惑星空間物理学講座  環境科学研究科 | 地球･惑星大気物理学  比較惑星物理学 |
| **惑星圏物理学** | 教 授 小原 隆博  教 授 笠羽 康正  准教授 三澤 浩昭  准教授 坂野井 健  准教授 土屋 史紀 | 惑星プラズマ・大気研究センター  　　　〃  　　　〃  　　　〃  　　　〃 | 惑星電波物理学  惑星磁気圏物理学  惑星分光物理学  惑星超高層物理学 |

地球物理学専攻 別紙４−１

地球物理学専攻 調査票

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ  氏名 |  | | 生年  月日 | 年　　月　 日 | 受験  番号 | （記入不要） |
| 最終  学歴 | 年　　　　月 | | |
| 卒業・卒業見込 | | |
| 分野 | 第１志望：（　　　　　　　　　　　　　領域　　　　　　　　　　　　　分野）  第２志望：（　　　　　　　　　　　　　領域　　　　　　　　　　　　　分野） | | | | | |
| 語学力  認定証 | □ TOEICⓇListening & Reading公開テスト（第252～295回）スコア提出  □ 第296～297回TOEICⓇListening & Reading公開テストスコアを別送する予定  □ TOEFL iBTⓇテスト スコア提出（受験日が2020年8月18日以降のものに限る） | | | | | |
| 本専攻を受験するにあたって  参考とした情報源（複数選択可） | | （当専攻の広報活動の参考とさせて頂きますので，実態に即して記載してください。）  □ 入試説明会 □ ホームページ □ パンフレット  □ ポスター □ その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） | | | | |
| 以下の事項（①〜③）は面接試験の資料となります。当日までに追加や訂正のための資料の提出は認めませんが，面接試験の際に，ここに記載した内容をより充実させて説明しても構いません。 | | | | | | |
| ① 今までに力を入れて勉強してきたこと  大学等で志望分野の教育を受けている者は，そこでの学習・研究について，それ以外の者は，特に力を注いだ活動（卒業研究，  レポート，興味を持った科目の学習など）について，その動機（目的意識など）・内容（対象や手法など）・目標（今年度中の到達目標など）あるいは結果（既に結果を得ている場合）とともに記載してください。  ② 入学後に研究したいテーマとその内容  大学院で行いたい研究のテーマとその内容について，当専攻を志望する理由とともに，記載して下さい。  志望分野が２つの研究領域にまたがっている場合には，第１志望での研究テーマを下欄に記載し，第２志望における研究テーマを  別紙4-3の② ’ 欄に記載してください。  下欄に，項目①と②について，それぞれ400 字以上を目安として記載してください。①，②に対応する記載部分の間には区切り線を入れてください。簡単な図表を用いても構いませんが，枠内に収めてください。  面接試験の冒頭の約５分間，項目①と②に記載した内容に関する口頭での説明を課します。 | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |

地球物理学専攻 別紙４−２

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| ③ 将来の展望について  大学院修了後の進路（就きたい職業など）について記載してください。 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

別紙４－３を提出しない者は，下記に☑すること。

□　第１志望と第２志望が同一の領域であるため，別紙４－３は提出しません。

地球物理学専攻 別紙４−３

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ  氏名 |  | 受験番号 | （記入不要） |

②’ 入学後に研究したいテーマとその内容（つづき）

第１志望と第２志望が２つの領域にまたがる受験者は、第２志望の領域における研究テーマについて下欄に記載してください。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |